

MR-AssetManagement



Windows/Mac/iOS 新OS対応状況一覧

Ver.2012 : Windows 10 October 2020 Update

Ver.2014 : Windows 10 May 2020 Update

Ver.1909 : Windows 10 November 2019 Update

Ver.1903 : Windows 10 May 2019 Update

製品名	現行バージョン	～ Ver.1909	Ver.2004	Ver.20H2	対応予定バージョン	対応時期・備考
		対応状況	対応状況	対応状況		
MR-AM	Ver.6.8.1i	○	○	○		■Ver.1903/1909/2004/20H2 [制限事項] ・Windows 10 v20H2でハードウェアインベントリを取得すると、「Windows 10/バージョン」の値は「2009」と表示されます ・Windows 10 v2004/20H2の場合、ハードウェアインベントリの「Windows Update情報」にある「更新方法」が空欄になる場合があります ※グループポリシー「コンピュータの構成」-「管理用テンプレート」-「Windowsコンポーネント」-「Windows Update」で、「自動更新を構築する」を「有効」にし、「7 - 自動ダウンロード、インストール時に通知、再起動を通知」を選択している場合に本現象を確認 [注意事項] ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対する配布はできません ・Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、Windows 10 Update設定利用時に次の注意事項があります a. Windows 10 Update設定で、「更新モデルを指定する：SACT」を選択してもクライアントに反映されません b. ハードウェアインベントリの「Windows 10 更新モデル」が常に「SAC」になります
外部メディア制御（オプション）	Ver.6.8.1i	△	△	○		■Ver.1903/1909/2004/20H2 [制限事項] ・外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません
操作ログ（一部オプション）	Ver.6.8.1i	○	○	○		
ふるまひ検知（未提供）	Ver.3.3.574.1	○	○	○		
ディスク暗号化	82.10.9575	○*	×	×		* 対応状況についてはテクニカルまでお問い合わせください
URL Filtering（オプション）	Ver.5.1	○	○	×		■Ver.1903/1909/2004 [注意事項] ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません ■Ver.20H2

製品名	現行バージョン	macOS (10.15)		
		対応状況	対応予定バージョン	対応時期・備考
MR-AM	Ver.6.8i	△	未定	[制限事項] ・ISMクライアントのインストール時に、ファイルへのアクセスを許可する必要があります。 ・Ver.6.6.1以前のISMクライアントをインストールした状態でmacOS 10.14からmacOS 10.15にアップデートすると、ISMクライアントが動作しません。 ・ISMクライアントの通知を許可しない場合、アラート通知やメッセージ通知が表示されません。 ・画像収録設定(*)でISMクライアントを許可していない場合、操作ログアラート発生時のスクリーンショットが壁紙とメニューバーのみの表示になります。 また、デスクトップに表示しているアプリケーションの情報は表示されません。 (*)画像収録で許可する手順 1.端末上で任意の操作ログアラートを発生させる 2.OS標準の「システム環境設定」アプリの「セキュリティ&プライバシー」-「画像収録」からISMクライアントを許可する ・macOS 10.14にISMクライアント（64bit版）をインストールした状態でmacOS 10.15へバージョンアップすると、外部デバイス制御や操作ログ取得が正常動作しない場合があります。 ※macOS 10.15にISMクライアントを新規インストールした場合は現象は発生しません。

製品名	現行バージョン	iOS 14			対応時期・備考
		対応状況	対応予定バージョン		
MR-AM	Ver.6.8i	△	未定	[注意事項] インハウス版アプリはiOS11.0 以降に非対応 [制限事項] ・監視モード(*)に切り替えない場合、ポリシー構成プロファイルで制御ができない機能があります。 (*)Apple Configurator 2でiOS端末を「監視モード」に切り替えることで端末制御が可能です。ただし、iOS端末単位で設定が必要です。 なお、iOS12からバージョンアップした場合、割り当てられているプロファイルが変更されるまでは非監視モードでも制御が可能です。変更されると端末の制御ができなくなります。 ・「設定アプリ」> プライバシー> 位置情報」で、iOSクライアントプログラムの位置情報取得権限を「常に許可」及び「正確な位置情報」を有効にしなければ、位置情報を取得できません。 ・個人データ取得同意確認メッセージの内容が正常に表示されない場合があります。 ・ISMサーバーで自己署名の証明書を使用している場合、MDM構成プロファイルをインストールできません。 ※下記の機能は動作可能です。 ・iOSクライアントの初期登録 ・インベントリ収集 ・位置情報取得 ・違反時ポリシーの割当 ・全配布ソフトウェアのアンインストール ・パスコード初期化 ・リモートロック ・リモートワイプ ・ソフトウェア配布 ・禁止ソフトウェア設定 ・アプリケーションポータル ・MDM構成プロファイル削除通知	

製品名	現行バージョン	iPadOS 14			対応時期・備考
		対応状況	対応予定バージョン		
MR-AM	Ver.6.8i	△	未定	[制限事項] ・監視モード(*)に切り替えない場合、ポリシー構成プロファイルで制御ができない機能があります。 ・(*)Apple Configurator 2でiOS端末を「監視モード」に切り替えることで端末制御が可能です。ただし、iOS端末単位で設定が必要です。 ・「設定アプリ」> プライバシー> 位置情報」で、iOSクライアントプログラムの位置情報取得権限を「常に許可」及び「正確な位置情報」を有効にしなければ、位置情報を取得できません。 ・個人データ取得同意確認メッセージの内容が正常に表示されない場合があります。 ・ISMサーバーで自己署名の証明書を使用している場合、MDM構成プロファイルをインストールできません。 ※下記の機能は動作可能です。 ・iOSクライアントの初期登録 ・インベントリ収集 ・位置情報取得 ・違反時ポリシーの割当 ・全配布ソフトウェアのアンインストール ・パスコード初期化 ・リモートロック ・リモートワイプ ・ソフトウェア配布 ・禁止ソフトウェア設定 ・アプリケーションポータル ・MDM構成プロファイル削除通知	

○：対応済み
△：一部制限ありで動作可能
×：動作検証中 または 未対応
-：非対応
・未定部分は、決定次第お知らせします。
・動作検証中のものは、検証完了次第情報更新します。
・注意事項は対応しない場合があります。